



地域おこし協力隊員(埼玉県蓮田市出身)

加藤 皓平

みなさん、こんにちは。9月1日より尾花沢市地域おこし協力隊に着任した、加藤皓平と申します。埼玉県の実家から尾花沢市に引っ越し、早いもので一ヶ月が経ちました。この一ヶ月で、尾花沢市で感動したことや、驚いたことが沢山あり、今日はそのうち3つをお伝えしたいと思います。

1つ目は、尾花沢の皆さんがイベントやお祭りに取り組み姿勢や、情熱です。尾花沢に来たばかりのとき、「天気まつり」という単語を初めて耳にし、衝撃を受けました。イベントやお祭りへの期待感や、待ち遠しさを感ずる言葉だなと思いました。また、イベントやお祭りに対し、一人一人が単に役割として仕事をこなすのではなく、催し物を盛り上げるための工夫をしたり、お客さんと、スタッフのみなで楽しむものとする印象を受けました。高校時代、私はクラスのみならず、文化祭を盛り上げようと頑張った感覚を思い出

す。「丸々となつて取り組む」とはまさにこのように事だ、と感じました。

2つ目は「トトロがこんな景色」に驚きました。尾花沢の森や田んぼがジブリの映画「となりのトトロ」に出てくる景色にそっくりだと思っています。着任時期が夏頃ということもあってかふとした時に「となりのトトロ」のワンシーンを思い出し、トトロが里手の葉っぱを持って、森から出てくるのではないかと、思ってしまうことが度々ありました。

3つ目は「みなさんが温かく迎えてくださることや、一人暮らしをしても、孤独に感じないこと」です。私は一人暮らしをすることが初めてで、実家から遠く、友達や知り合いのいない土地に住むことが不安でした。しかし、尾花沢に来てから心細さを感じることはありません。ここ尾花沢で出会ったみなさんは、一人である声をかけてくださり、「ちゃんと御飯食べ

てるか？」と父ちゃん、母ちゃんのように接してくれます。最初はみなさんの心遣いに気づかず、「はい、食べました。」と答えておりましたが、私のことを心配してくれていることに気づき、胸が熱くなりました。私もみなさんのような気遣いが出来るようになって、この嬉しい気持ちを、沢山のひと共有したいと思います。



あとがき

今年は台風が多く、本市では、荒橋橋が大雨で流されてしまいました。ここは私の子ども時代の大切な思い出の橋でありました。

議会だより編集にたずさわり早や一年がたちました。まだまだ道半ばですが、読みやすく分かりやすい紙面を工夫中です。どうぞ皆様のご感想をお聞かせ下さい。(鈴木 清)

発行/山形県尾花沢市議会 編集/市議会だより編集委員会

- 市議会だより編集委員
- 委員長 塩原末知子
 - 副委員長 小関 英子
 - 委員 大類 好彦
 - 委員 笹原 和子
 - 委員 伊藤 浩
 - 委員 鈴木 清
 - 委員 鈴木 裕雅

おばなざわ 91号 市議会だより

平成28年11月1日発行



9月定例会

- 平成27年度決算を認定..... 2
- 決算特別委員会..... 4
- 分科会委員長報告..... 6
- 一般質問..... 8
- 行政調査報告..... 14
- 私のひとこと..... 16

宮沢の歴史発見第9回ウオーキング大会
地区内を歩き、お寺や神社の名前、宮沢の歴史に関する問題を解いて
豊かな自然を感じながら11チーム34人が楽しく散策しました。

平成27年度決算を認定

みなさまの

くらし・安全に使われました

決算の認定

一般会計歳出 126億6063万円
特別会計歳出 61億6278万円
歳出総額 188億2341万円

平成27年度
主な
重点事業

安全安心な生活環境づくり

- デジタル防災行政無線整備工事 4億2962万円
- 高機能消防指令センター整備事業 1億4148万円
- LED街路灯(49基) 151万円

定住のまちづくり

- 尾花沢市内空き家実態調査業務 299万円
- 空き家情報サイト構築業務 59万円

活力のある産業づくり

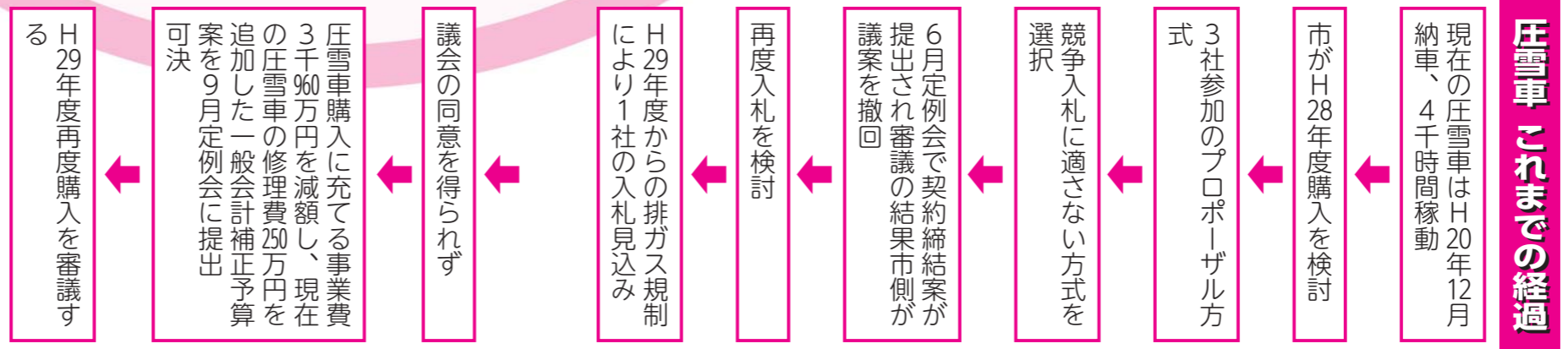
- スイカ選果場更新(強い農業づくり交付金繰越明許分) 2億8893万円
- 徳良湖温泉サウナリニューアル工事 796万円

教育と文化のまちづくり

- 小中学校スクールバス運行費 3165万円
- 常盤小学校移転にともなう改修費 5388万円

定例会のあらまし
9月定例会は、9月6日から23日までの18日間の会期で開催されました。平成27年度各会計決算の認定7件、補正予算3件、人事案件5件の合計15件を慎重に審議した結果いずれも原案のとおり可決しました。
また、請願2件を採択し、1件を継続審査としました。

特別会計歳出	
国民健康保険特別会計事業勘定	28億0097万円
中央診療所施設勘定	4億5961万円
簡易水道特別会計	2億3852万円
国営村山北部土地改良事業	5億6671万円
農業集落排水事業特別会計	6706万円
介護保険特別会計	18億5143万円
後期高齢者医療保険特別会計	1億7848万円



市民生活
向上に

どのように活かされたか!

Q&A



館の使用を考えている。

Q 福原と宮沢公民館の駐車場にヒートポンプ融雪をしたが地中熱利用の融雪をするべきではなかったのか。また、資料館の屋根の融雪は効果が出ているようなので新庁舎へ設置してはどうか。
(加藤克彦)

融雪装置の新庁舎への活用は

A 公民館へ設置する際井戸を掘削する費用がかなり高額になるため実施は出来なかった。新庁舎の屋根の融雪は、屋上の立ち上り(パラペット)の部分に資料館で使用している部材の使用を考えている。

Q すいかエキスの研究に60万費やして完了としているが、今後の対応はどうするのか。またすいかエキスの効能が体質改善に非常に効果があると言う結果であれば、携帯に便利なサプリメントの計画はないか。
(笹原和子)

すいかエキスの活用はいかに

A すいかエキスを使った化粧品サンプルを試用し、その結果は抗炎症作用や抗酸化、抗糖化作用が有り8割の方が良い印象で、つけた感触も心地良いというものである。今後化粧品の商品化に向けて検討している。すいかエキスの薬効もあるので、尾花沢スイカワラスターと協議をし、会員の協力も得ながら検討したい。

かされたか!

資料館の企画の充実を

Q 芭蕉・清風歴史資料館の事業と入館状況は。「東海林徳芳遺芳展2」が好評だったが、生誕150年(平成31年)に向けて、予算化し企画を充実させてはどうか。
(鈴木 清)

A 事業は6イベント、入館者は5千714人で、9割が市外の方だ。東海林徳芳の生誕150年は関係機関と協議し検討したい。



防災行政無線の内容確認は

Q 昨年から運用が始まった防災行政無線で

あるが、暴風雨で防災放送の内容が聞きとれなかった時、電話で確認ができることを市民の方にどのようにして周知するのか。
(小関英子)

A 放送内容を確認できるようにホームページに掲載し、電話の周辺に確認番号をシールのような物、または壁に貼り確認できるように考えています。



今後の地域おこし協力隊の活動方針は

Q 9月着任の地域おこし協力隊の今後の活動方針は。
(鈴木裕雅)

A 8歳からチエロを始め、高校大学と音楽を学び、現在も東京室内管弦楽団に所属していることから、市内小

中学校への出前講座に取り組んで行く。



都市計画税と入湯税の使途は



Q 目的税である都市計画税と入湯税の使い道がわかりにくい。使途を明確にせよ。
(塩原未知子)

A 都市計画税は主に本町地区の公園の整備

緑の里山をいかに守るのか

Q ナラ枯れなどにより、里山が荒廃しているが、みどり環境交付金事業の実績はどうだったか。
(伊藤 浩)

A 事業の実績として主に里山を対象とした「森の学校」「ぎずなの森」景観整備自然学習会」などを実施した。また、里山林整備事業は宮沢地区の里山で実施された。



流雪溝整備は

Q 横町地区流雪溝はどのようになっているのか。
(奥山 格)

A 大正小路の流雪溝

や流雪溝整備につかわれています。入湯税に関しては、徳良湖の周辺整備や銀山温泉街のトイレや橋の整備に使われていますが、今後納税している方にわかりやすくしていきたい。

空き家の利活用

Q 所有者不明の空き家が急速に増加する傾向にあるが、空き家を公営住宅としての利活用はどうか。
(武田佳久)

A 地域創生先行型事業で150軒の空き家の実態調査をしたところ、利活用の出来る物件は29軒、一部修繕可能な物件は46軒、内部調査可能な物件は20軒となっておりそのうち2軒については移住者に利活用されている。空き家は賃借と売買となっており、賃借には補助金を活用して欲しい。

花笠まつりの土口開催はどうか

Q おばなざわ花笠まつりについて、参加しやすく、観光客が来やすいまつりにするため、土口開催にしてはどうか。
(大類好彦)

A まつり実行委員会や関係団体の意見を聴取して、問題等無いか確認し前向きに検討したい。



行に向けて宝栄牧場、鍋越沼の観光資源をどう活かすのか。
(菅根光雄)

は西側が未整備だが、今年度から測量設計に入っている。来年度から工事着工予定の水の導線路は、新堰から消防署前の交差点を通り、中町横町線を通って大正小路線の柵に流れていく。

学校解体にふるさと納税を

Q ふるさと応援基金の活用方法については、廃校の校舎解体に絞って使用してはどうか。
(須貝 孝)

A ふるさと応援基金は条例で使用が限られており、寄付者の意向に沿った使い方をしたいと考えているが、財政課、選定委員とも協議して検討していきたい。

国道347号の観光の活用を

Q 国道347号線通年通

A 宝栄牧場は明治初期に開設され、昭和40年に市営牧場となり国内でも古い牧場である。広大な宝栄牧場は外国の風情を思い起こさせる場所であり観光資源の大きな可能性を秘めており国道347の通年通行を期にアウトドアレジャーの発掘やイベントを含めて調整をしている。また鍋越沼は手つかずの場所であり、美しい風景を保っておりドライブの疲れを癒す場所として、今後開発をどうするか関係機関とも協議をし検討したい。

議 長 菅野修一
監査委員 青野隆一
決算特別委員長 星川睦子
3名は、役職の都合上質疑できません。

決算特別委員会

分科会委員長報告

第1分科会(総務文教)

実質公債費比率、将来負担比率など主な財政指標

詳細な説明を求め、本市財政が改善傾向にある旨の説明を受けた。今後とも限られた財源の中で、健全な財政運営に努められるよう要望した。

寄付者拡大のためHPの充実を図り、また寄付金の使い道についての絞った事業への活用を要望した。

財政管理費
庁舎建設基金積立金及び公共施設整備等基金積立金は、今後とも、空き公共施設等の解体も見据えた基金への計画的な積み立てを行い、引き続き健全な財政運営に努めるよう要望した。

地方創生先行型事業

尾花沢すいかブランド推進事業は、尾花沢すいかを活用した化粧品の開発とあわせ、機能性に特化した商品の開発を要望した。



融雪モデル装置設置事業は、空気熱を活用したモデル装置に加え、地中熱を活用した低コ

ストなモデル装置の設置を要望した。

地域開発費地域おこし協力隊受入事業

地域おこし協力隊はまちを明るく、活気あるものにする存在にもなっており、今後とも受入態勢を整えていくよう要望した。

文化体育施設管理費

施設の修繕は可能な限り市内業者に発注するよう要望した。

学校管理費

教職員健康診断委託料について、再検査が必要な教職員の受診率

事業の成果と反省を踏まえ、事業の実施を要望した。

社会福祉総務費

全国的にも注目を集めている除雪ボランティアセンター活動事業費補助金は、市外からの参加者が増加していることから、受け入れ態勢は、市民への協力

を質したところ、受診率が低く、教員の健康は生徒への影響もあるため、今後も健康管理に努めていただくよう要望した。

以上のことを踏まえ、付託された決算議案について採決した結果、いずれも原案のとおり認定すべきものと、意見の一致をみました。

要請を含め、同センターが担う役割を再確認して行うよう要望した。

老人福祉費

高齢者リフト付きタクシー補助費は、予約が取りにくい状況もあり、実態の把握とともに、利用条件を緩和するなど改善に努めるよう要望した。

第2分科会(市民厚生)

路線バス運行費

バス運行業務委託料の銀山線について、運行費補助金を交付していることから、運行状況、使用料収入、支出経費など詳細な報告を要望した。

子育て支援対策費

子育て応援情報サイト「おがくれ」が好評だが、乳幼児の写真掲載については、保護者の同意を得るよう要望した。

保健衛生総務費

特定不妊治療費助成は、不妊治療に望むこととの不安や疑問を解消できるよう、健康相談で重点的に取り組まれるよう要望した。

国民健康保険特別会計

基金残高の減少により、法定外繰入を実施したが、今後の歳入歳出の動向を注視し、安定した財政運営に努めるよう要望した。

簡易水道特別会計

配水管布設替工事について、老朽化する配水管や、石綿管が残る区間については計画的に布設替えを進めるよう要望した。

介護保険特別会計

介護保険料の納付に關して、65歳以上の方には多くの場合、年金から天引きとなる特別徴収となっているが、65歳到達時や、納付額

第3分科会(産業建設)

地域消費喚起・生活支援型事業

商品券発行について、幅広く多くの方々に購入していただけるような対応を要望した。

農業振興費機構集積協力金

本市の多くは中山間地域であることから、制度の見直し、及び交付単価について引き続き国に対して要望するよう要望した。

畜産生産拡大支援事業費補助金

高齢化による離農も予測されることから、畜産農家の雇用拡大のため、第2次産業に向けた起業支援について要望した。

花笠高原施設費施設等修繕料

施設の老朽化が進む

商工業振興費

まるでし尾花沢ふれあいまつりについて、より多くの方々から来場いただけるよう他課との連携・調整を図るとともに、イベント内容についても検討されるよう要望した。

徳良湖周辺施設管理費及び徳良湖温泉施設管理費

指定管理に関する勉強会を開催し、情報共有が図られるよう要望した。

企業対策費

引き続き企業誘致活



者で意見を出し合い、施設拡張を行うよう要望した。

道路維持費地域一斉除排雪事業補助金

地域支援や福祉の面からも連携を図った除排雪対応を行うよう要望した。

また、市営住宅使用料は、平成25年度より3年連続で現年分を全て収納し、収入未済額をゼロにしたことの努力を評価。さらに、市民からの要請があった際の迅速な現場対応は、請願の高い着手率にも繋がっている。未着手の請願については課題を整理し引き続き迅速な対応を要望した。

一般質問

Q & A

スマートフォン・タブレットで
簡単便利



議会インターネット中継・録画

どなたでも議会を傍聴することができます。当日受付名簿に
住所・氏名を記入していただくだけで面倒な手続きはありません。

市内栽培の尾花沢すいかに 独自の産地認定制度を



塩原未知子議員

Q 今年は「尾花沢すいか」が初値から高騰し、当市以外で栽培し販売している悪質な偽造品が横行し、著しくブランド評価を下げている。GIマーク取得を含め証明書発行など産地を証明する対策はないのか。

A 現在JAみちのく村山がGIマーク取得を目指し申請準備を進めている。市全体の生産者の証明書使用は生産者を守り、トップブランドの価値を落とさないために統一した証明書の発行をめざし、さまざまな課題をクリアして研究会を立ち上げるなど、検討をしている。鳥獣被害が酷すぎ

る。ふるさと納税の使用途として山や森の保全活動や維持管理などに活用し、早急に対応する考えはないか。

A 近年、農作物の被害が深刻な状況である。里山適正管理や自然環境の維持再生のための事業に合致している。寄付者に使い道として共感いただける事業へ有効活用を図っていく。

Q 今年お堂森新登山ルートがお披露目されたが、御所山の登山道が荒れている。観光と地域防災、長期視点にたった山の環境保全を考えるべきだが、今後の見通しはどうか。

A 「やまがた百名山」第1次選定50選に「御所山」「翁山」「二つ森山」「大平山」が選定された。細野地区の「お堂森」新登山ルートは登山道として登録申請を市が行う予定で、御所山の登山道は、荒神



徳良湖ジュニアヨット東北大会

コース崩落のため一部閉鎖されている。今後ルートの変更も視野に入れ検討していくが、登山道の整備については今後も登山者の安全確保を図るため整備していく。

Q 5年後の徳良湖築堤100年を前にマスタープランが大事だ。進捗はどうか。

A プラン策定には、市民や関係団体を交えたワークショップを実施し、観光拠点、市民の憩いの場として徳良湖の素晴らしい自然環境を活かす計画を盛り込んでいきたい。

尾花沢市の財産である農地を どう守っていくのか



伊藤 浩議員

Q 農業委員会が遊休農地の確認パトロールを行なっているが、その面積は増える傾向にある。今後の政策をどう考えているか。

A 遊休農地の拡大抑制対策として「農地集積担い手支援事業」を創設している。従来の政策に今年度から新設した「中山間地域等持



遊休農地

続的農地保全支援事業」も併せながら遊休農地の拡大抑制に努めていく。

Q 農業従事者が高齢化の一途をたどる中、元気で農業に励んでもらえるように地方創生交付金を活用した市独自の奨励金制度を設けてはどうか。

A 農業従事者の高齢化が進む中で、地域の担い手となっている農業者に対して国の「中山間地域活性化事業」や市単独事業の「尾花沢市元気な農業支援事業」を有効活用して頂きたい。地方創生交付金は、現状で個人の支援に充てる事はできない。

Q 間口除雪の市民負担を軽減するために、サイドシャッター付きの除雪車を試験的に導入してはどうか。

A 市の除雪機械の内、約6割が委託業者の所



新庁舎のイメージ図

有する機械であり、新たにサイドシャッターを付けるには部品の交換など、相当の費用負担が見込まれる。本市の除雪業者は県内有数の技術を持っているので技術力でカバーし、間口除雪の負担を減らしていきたい。

Q 新庁舎の実施設設計における進捗状況は。また、予定の2月末までに完了できるのか。

A 6月に一般競争入札で委託業者が決まり、現在「設計内容の技術的な検証」と「基本的な具現化に向けた詳細な検討」の2工程で作業を進めており、来年2月を目処に取りまとめたいと考えている。

小中学校の統廃合を見据え環境の整備を



大類 好彦議員

Q 市長は「1期目に蒔いた元気の種が芽を出し、その芽を大きく成長させ、花が咲き、元気の実を収穫する。」と言っているが、どんな種を蒔き、どの様な芽が出て、どの様な成果を得られるのか。

A 元気の種とは、第6次総合振興計画の7つの柱のことである。国道347号も通常通行によって尾花沢は元気な大きな花が咲き、実を結ぶ時を迎えている。

Q 子どもの人口減少が進んでいく中で、将来を見据えた、小学校・中学校の統廃合についてどのようか考えているか。また、現在でも手狭な駐車場は、

今後、統廃合を考慮する中でさらに課題がある。尾花沢小学校前十字路の安全対策も必要だと考えるがどうか。

A 尾花沢中学校の駐車場については、体育館東側の不動産鑑定費を予算化しており、来年度は用地取得を考えている。尾花沢小学校前十字路の安全対策は教員の立哨などを行っていく。

Q 人口減少などにより、お客さんが乗っていない路線バスが走っているのをよく見かける。子ども達の足には、スクールバスの利用で手厚く行い、高齢者は、デマンドタクシーで対応してはどうか。

A 尾花沢市地域公共交通会議に諮り、来年4月から路線バス無料化を目指す。現行のバスが通れない狭い道は小型バスの活用も検討する。



尾花沢中学校体育館側空地

赤ちゃんと家族のために 「赤ちゃんの駅」づくりを進めては



小関 英子議員

Q 子育て日本一を目指すなかで赤ちゃんママのためにおむつ交換や授乳が安心してできる取り組みはしているか。

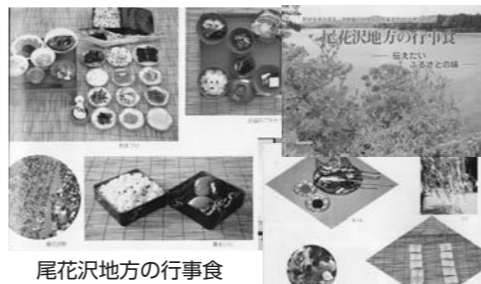
A 今年度より（あかちゃんおでかけサポート事業）として授乳ケープの無料貸出を開始し、公共施設内に授乳スペースやおむつ替え台の整備を進め、子育て世代が安心して外出できるように取り組んでいる。

Q 乳幼児がいる家族の方が安心してイベントで使用でき、いざ災害時に緊急避難所・授乳施設となる（移動式赤ちゃんの駅）購入が必要ではないか。

A 「赤ちゃんの駅」を希望される方の件数も増加している状況であり、さらに災害時に指定避難所や被災地での活用も可能なことを考慮すれば、今後必要であると考えます。

Q 平成元年に尾花沢の伝統的な食文化を伝承するため、尾花沢市食生活改善推進協議会により発行された「尾花沢地方の行事食・伝えたいふるさとの味」がある。当時、農作業と子育てをしながら多くの方々の協力をいただき完成することができた大変貴重な資料である。内容をDVD化し、よりわかりやすい解説や工程などを加えて後世に残し、良き食文化を伝える機会をもっと設けてはどうか。

A 町村合併35周年、市制施行30周年、芭蕉来訪300周年を記念して尾花沢市食生活改善推進協議会の会員の皆さんの手によって、3年間の編集を経て160ページにわたる料理ごみや行事食、人生の儀式や客膳料理など食と健康づくりにも貴重な資料と考えており今後、HPに掲載し周知を図っていく。また、第2次尾花沢市食生活改善推進計画では親から子へ、子から孫へと伝承が大切であり、今後も次世代へ伝えていけるよう関係機関と連携を深めた事業を推進していく。



尾花沢地方の行事食

地域の宝である子どもたちと 元気な尾花沢を語る会の開催は



笹原 和子議員

Q 各地区で市長と元気な尾花沢を語る会を実施しているが、これを子どもたちに展開し、開催してみてはどうか。

A 現在、元気な尾花沢を語る会」の出席者は大人の方である。尾花沢の未来を担う子どもたちから提案をいただくことは、市政運営にとっても貴重な機会と考える。児童・生徒が自分の住むまちの課題と良さを考えるきっかけとなるように、市長自ら学校に出向き、直接子どもたちと意見交換や「仮称市長夢講話」ができないか関係機関と調整を図り検討していく。

Q 新規の福祉サービスとして、移動が困難な高齢者や障がい者に対し、訪問美容サービスを実施してはどうか。

A 寝たきりなどで理美容の利用が困難な方で身綺麗にすることは潤いある生活の大きなきっかけ作りになると考える。今後調査をして検討したい。



山形空港ライナーバス

Q 除雪券と灯油購入券のどちらにも利用できる共通サービス券の発行はできないか。

A 両サービスを併用して使えるサービス券は、対象世帯の整理、一人もしくは一世帯あたりの扶助額等の大幅な見直しなど、実施は簡単ではないが、利用しやすい福祉サービスとは何かを、今後も前例に捉われず検討し、見直しを図りたい。

Q 銀山温泉行ききのバスで、駅や空港からの利用者は遠方の方や観光客が多いことから、車内に観光ポスター、観光パンフレット、観光PR用のTV映像など、より広い尾花沢のPRを行なってはどうか。

A 銀山温泉は国内外から多くの観光客が訪れ連日賑わっている。バス内でのポスターやリーフレットは設置しており、市の観光と特産品のパンフレットやPR用映像の車内放映については、内容などを、バス運行会社と連携して検討したい。

高齢者にタクシースターの補助を



加藤 克彦議員

Q 雪降り和牛・尾花沢スイカなどが主な本市の農産物では今後新たな戦略が必要不可欠である。観光客が利用できる食事処や物産の販売所の新設が必要ではないか。

A 今後37号の交通量が増え、交流人口の増加が見込まれる。銀山温泉が観光の拠点になり、二藤街道地区にJAみちのく村山で新たな施設の建設計画がある。その中で新たな農産物販売拠点の新設を検討していく。

Q 本町の新町地区（旧しあわせ銀行跡地）に観光物産館を建設してはどうか。

A 本町地区は空き地が点在しており、公園などの計画が進んでいる。新たな観光物産館の計画は現在検討中であり、新町地区は本町の中心地であり、新しいまちづくりにはかせないと考えます。

Q 本市独自の新たな農産物を開発してはどうか。

A 新庄地区で地域の飼料米やさくらんぼを餌で飼育した山形さくらんぼ地鶏や、大江町の食材で飼育したやまがた地鶏生産で加工施設を新設するなど農産物の1次2次そして6次化による雇用が生まれている。今後新たな計画があれば支援していきたい。

Q 自動車免許証の自主返納者に対する支援事業として、村山市では65歳以上の返納者に対し、乗合タクシースターを交付し、東根市は

乗合タクシースター2万円を交付している。本市の2千円のバス乗車券とは大きな差が生じている。見直しをしてはどうか。

A 近隣市町の実施状況を参考にし、検討する。

Q 東根市では、高齢者タクシースターを導入し、70歳以上の高齢者を対象に1枚60円の助成券を1年間24枚交付している。1回の乗車で1人3枚まで利用でき、3人で乗車すれば5千500円のタクシースターが利用できる。本市でも制度を導入してはどうか。

A 交通弱者の救済として、タクシースターの補助は東根でも実施しており、本市でも重要な施策である。デマンドタクシースターは本市の地形や地理条件が阻害要因となっているので今後尾花沢市地域公共交通会議にはかる。

病児保育の実現を！



青野 隆一議員

Q 電気柵などへの有害鳥獣対策事業費補助金や、猟友会の協力を得る鳥獣被害防止対策事業費補助金の予算を増額すべきではないか。

A 現行では山形県有害鳥獣被害軽減モデル事業の認定を受けた案件しか該当しないので、今年度の猿や熊の出没件数増加に伴い考慮のうえ検討する。

Q 平成27年に採択された秋袋地区内の流雪溝整備に関する請願の進捗状況はどうか。

A 田沢大堰からの流入量は、水量が不足しているため水源の確保が重要課題であり、平成24年度以来5年連続して県に対し強く要望

している。今後とも県と調整しながら実現に向け、取り組みを強化していく。

Q 発熱など体調に不安のある子どもを預かってくれる病児保育を中央診療所内に設置してはどうか。

A 中央診療所については、現在外来診療や入院対応で施設を使用している状況であり、感染の恐れのある外来患者の対応や在宅医療の実施など施設運営面や看護師などの人員体制について現状では対応できない状況である。病児保育については、何よりも両親や家族などの見守りが一番であるため、子どもの看護のために休暇をとれるよう、企業や雇用主に働きかけることも重要であると考える。

Q 小・中学校の競技人口が減少しているクロスカントリースキー

の支援、振興策についてどのように考えているか。

A クロスカントリーの競技人口は著しく減少しており、市内中学校の現在の部員は2校で13名となっており、選手を取り巻く環境は厳しい状況である。尾花沢だから出来る「雪に親しむ・雪を楽しむ」事業を少年期に体験させる取組を今後も継続しながら関係団体と連携し、クロスカントリースキーの振興に努めていく。



ローラースキー大会

本市の活断層と公共施設



奥山 格議員

Q 本市公立保育所のありかた検討委員会が、おもだか保育園は移転改築が望ましいという提言書をまとめた。ただ、公立保育所をどこに建築するのが良いかは、活断層のみならず、大雨や土砂崩れ、地盤の弱さなど、種々の観点から検討する必要があるのではないかと。今後、この提言書を受け、市としておもだか保育園の移転改築に向けた検討を開始していくことになるが、様々な災害を想定しながら、地域における防災上の位置づけとも合わせて検討していく必要があると考える。

Q 本市の雪対策、老朽化した橋の長寿命化、市道の補修、市営住宅の建替えや改修などについて、社会資本整備総合交付金の果たす役割が大変大きいですが、どのような内容の交付金か。

A 社会資本整備総合交付金は、従前事業別に行なってきた国土交通省所管の個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金である。2本立てであり、本市では防災・安全交付金として、流雪溝・防雪柵などの道路改良、橋の長寿命化、道路施設の点検・補修に、社会資本整備総合交付金としては、雪寒道路の除雪費や市営住宅の改善改修に活用している。

Q 本市では消流雪用水導入事業が名木沢地区で導入、実施されたが他に今後導入する考えはあるか。

A 本事業については、県で現状調査を行なっているが、いずれの地区も採択要件に合致せず不採択となっている。今後採択要件の緩和や事業対象の拡充を強く要望していきたい。

「子育て日本一」は何を重点にするのか



鈴木 清議員

Q 本市ではどのような点に力を入れて「子育て日本一」をめざすのか。また、教育費の負担軽減と「子どもの貧困」対策からも給食費の補助が必要でないか。

A 保育料の多子軽減・中3まで子ども医療費の現物支給など妊娠、出産、育児に至るまで、切れ目のない支援体制で、「日本一の子育て環境」をめざしている。給食費は、学校給食法により、保護者が負担することになっている。給食費補助は、県内自治体の動向を注視し、慎重に対応したい。

Q 今年度はクマの出没が過去最多となっているが、出没件数と被害状況はどうか。また市民への注意喚起のため、クマの出没地図を作り、周知してはどうか。

A クマの目撃情報は昨年の2.5倍の115件、被害はすいか、メロンなど55万6千円となっている。クマの調査地図は作成している。市民への注意喚起チラシを市報に折り込んで、クマの目撃や被害には、その都度区長と連携し、注意看板の設置や集落

Q 今年度の移住支援コーナーの創設による相談件数と定住件数は、「体験ツアー」や「お試し移住体験」など企画してはどうか。

A 相談件数は40件あり、そのうち17件が市外からの移住に結びついている。ツアー企画は実施に向けて関係機関と調整中である。本市に住んで良かったと感じていただけるよう、移住者に寄り添った支援に努めたい。

採択された請願

◎平成28年請願第5号

介護保険制度における軽度者への給付を継続する旨の意見書を提出することを求める請願

福祉用具国民会議 永沢奈美子

◎平成28年請願第6号

福島原発事故避難者への住宅無償提供の継続に関する請願

福島原発被害者フォーラム山形・福島 代表 武田 徹
原発事故被害者団体連絡会 共同代表 長谷川健一
武藤 類子

継続審査になった請願

◎平成28年請願第7号

地方財政の充実・強化を求める請願
連合山形北西村山地域協議会

議長 高橋 正昭

可決された意見書

◎平成28年議会案第3号

福原原発事故避難者への住宅無償提供の継続に関する意見書

◎平成28年議会案第4号

介護保険制度における軽度者への給付の継続に関する意見書

△：継続審査に反対 ○：賛成 ×：反対 /：議長

平成28年9月定例会賛否状況

(賛否の分かれた議案のみ掲載、他は全会一致)

番号	案件名	採	択	△	○	×	/	菅根 光雄	須貝 孝	菅野 修一	加藤 克彦	奥山 格	青野 隆一	星川 睦子	大類 好彦	武田 佳久	小関 英子	鈴木 清	伊藤 浩	笹原 和子	塩原未知子	鈴木 裕雅	
議第49号	平成28年度尾花沢市一般会計補正予算(第3号)	採	択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願7号	地方財政の充実・強化を求める請願	継続	審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

北村山広域行政組合議会

9月26日、定例会を村山市議会議場で開き、H27年度一般会計決算を認定。歳入1億539万円、歳出9千704万円、差引き残高835万円はH28年度に繰り越された。北村山視聴覚教育センター事業については、H27年度のセンター利用者数は2万2千700人で、H26年度より1千300人の増、小学校高学年対象の情報モラル学習も継続して増加、さらに高齢者ふれあいサロンの映画鑑賞やプラ

ネタリウム観覧によるセンター利用も増加し、今年度も利用拡大に向けた取り組みを要望した。北村山の自作視聴覚教材コンクールでは、尾花沢のかげ絵2点が最優秀賞に輝き、今後も地域教材などの資料の収集や制作に努めるよう要望すると共に、時代の要請に対応した積極的な事業の展開を図り、視聴覚センターの活用が進むことを要望した。またH28年度の北村山教育賞に、

奥山華波さん(大石田中学2年)が選ばれました。(H28年3月18日岐阜県郡上市の鷺ヶ岳スキー場で開催された日本スノーボード協会主催の第34回全日本スノーボード選手権大会スロープスタイル一般女子の部で初優勝を飾りました。)

10月3日、H28年度の主な事業の所管事務調査で、亀井田橋水道管橋梁添架工事、衛生センター・し尿処理施設、銀山温泉浄化センターの現地調査を行いました。し尿処理センターは11月の本操業に向けて試運転が行われている。

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会



H28年10月3日撮影

総務文教常任委員会

委員長 大類好彦

1 北海道上士幌町
ふるさと納税関係など

上士幌町は、15億円ものふるさと納税が集まっている。その理由は、ふるさと納税で保育料を10年間無料にするという事に、全国から賛同を得ているからだ。ふるさと納税を何に使つかに、納税者の関心は移っている。町長がふるさと納税を始める時に、職員から大反対されたと言った。しかし、思い切った政策は功を奏し北海道一番のふるさと納税を集めた。

トップが何を指すのかハッキリすることが、まちづくりの基本となる。町長の熱い思いのこもった説明に、私たち全員が感動した行政調査となった。

2 北海道浦幌町
地域活性化・社会教育関係

子どもの想い実現事業は、町長あてに提案書を提出し、行政・民間で実現できるものを具体化する。その一例として、町の鳥アオサギを中学3年生が描き、マスコットに使っている。また、小学6年生に

は町長宛に町おこしの要望を書く作文集「太陽の手紙」を発行。そういつた取り組みの成果が「まちが好きた」が31・7%から52・1%に増加。「まちに住みたい」が9.6%から20・2%に増加した。町民の意見を聞くことで、自ら考え行動し、町を愛する心が育つことに役立つしていると感じた。

害がでた。津波の被害の心配のない尾花沢市だが、図上訓練や避難所運営ゲーム「Doはぐ」は取り入れるべきものと感じた。様々な指示が書かれたカードを一枚ずつ配り、対応する避難所運営ゲーム。炊き出しや仮設トイレ、部屋割りなど考えなければいけないことは山ほどある。日頃から対応を考え、置くことは、いざと言う時にスムーズな避難所運営につながる重要なことだと考える。

市民厚生常任委員会

副委員長 伊藤浩

1 北海道美瑛町
「子育てファイナル」とりーむ

特別支援教育の枠を拡げて「障がいのあるなしにかかわらずに、全ての子供を継続して支援する」ことが大きな特徴と

言える。事前の資料を見た時は、個人情報を守秘が問題になるのではと思ったが、当局の説明を聞き、事業に携わる担当者の姿勢が、周りの人を大きく動かしていると感じた。自らが

事業に入り込んで一緒にやって取り組んでいる姿が伺えた。この調査では特に「行政職員としての取り組み姿勢がいかに大事か」ということを痛感した。

「コミュニティバスあいバス」
従来、効外地からは混乗のスクールバスが7路線運行されているが、街の中心部における高齢者を中心とした交通手段としてスタートした。

特徴的なこととして、スクールバス路線との乗り継ぎターミナルがあることや待合サロンが設置されていることなどである。

「池田ワイン城」
かつて赤字再建団体に指定されていた池田町が苦肉の策としてS38年に自生している山ぶどうを利用したワインづくりを開始した。ワイン城はS49年に町が直営の施設としてオープンした。何事においても、事を興すには大変な決断と努力が必要であることを改めて思った。

3 北海道むかわ町
「高齢者生活支援センター」ひだまりの里
統廃合により発生した空き校舎を増改築し、高齢者共同施設「こみ荘」を町が社会福祉法人に管理委託を行なっている。開設当初からほ

ぼ満室の状態が続いており、高齢化社会を裏付けていた。この事業で使用された廃校舎はH4年に建てられたものであり、増改築費用として約3億5千万円が過疎債で費やされている。

産業建設常任委員会

委員長 武田佳久

1 津南町新規就業者への支援事業

町の基幹産業は農業であり、農業後継者・新規参入者の就業率は新潟県内屈指となっており、広大な農地を利用し、青年農業者を中心に大規模経営が図られている。農業研修制度を活用し、研修先は（公財）町農業公社または先進的畑作農業者で、期間は2年以上。研修内容は公社直営の畑作または野菜、花卉などの栽培農家で働きながら栽培方法を学ぶ実地研修が主体である。また、研修圃場におい

て自分で作物を栽培して学ぶことが出来る。新規就業者用アパートは、世帯用と单身者用があり、町内の空き家も公社により斡旋している。豪雪を活かし、雪を使った冷蔵庫「雪室」にも取り組み、収穫後にはすぐに雪室に入れることで雪の冷気により鮮度を逃さずに野菜を出荷している。

美しいまちなみの通りである。「雪国の歴史と文化を活かすまちづくり」というコンセプトにより創られた美しいまちなみとそのまちづくりは、これまで多くの賞を受賞している。街路事業（道路改良）を機に、伝統的な雪国建築を活かしたまちなみ形成をめざし、建築物の外観・意匠の統一・色彩制限、さらには2メートルのセットバック空間に雁木を設置するなど、独自の建築協定を設け、雪国特有のまちなみとその魅力を復元して

いる。こうした地域住民によるまちづくりと合わせ、街路事業では、歩道の新設や電線類の地中化などにより、安全・安心な歩行者空間の整備を行っている。

3 まちの駅ネットワーク
佐野まちの駅通信
まちの駅とは、地域住民や観光客が気軽に立ち寄り、地域の話や情報が得られる交流の場である。トイレに困ったとき、道に迷った時などにも遠慮なく立ち寄れる総会や会員間の通信により情報を共有している。

荒橋の今！ 台風7号の被害



①7月13日撮影



②8月17日撮影



③10月4日撮影

今年春から老朽化して通行止めだった臈気地内の荒橋が、8月17日の台風7号による大雨被害により決壊しました。現在は仮設の橋をかけるため建設中です。地元の要望に応えるため早期建設にむけ作業が進められています。

議会日程誌

(抜粋)

- 8月
 - 9日 山形県市議会議長会議員研修会
 - 12日 議会運営委員会
 - 15日 尾花沢市成人式
 - 18日 8月臨時会・林活議員連盟総会
 - おばねクラブ政務活動(19日)
 - 25日 市民厚生常任委員会
 - おばなざわ花笠まつり(パレード参加)
 - 産業建設常任委員会・議会運営委員会
 - 全員協議会
 - 30日
- 9月
 - 2日 全員協議会
 - 6日 9月定例会(23日)・議会だより編集委員会
 - 21日 全員協議会
 - 24日 翔政会政務活動
 - 25日 首都圏尾花沢会第32回総会懇談会
 - 26日 市政クラブ政務活動
 - 30日 議会だより編集委員会
- 10月
 - 2日 市総合防災訓練
 - 3日 環境衛生事業組合議会所管事務調査
 - 4日 議会だより編集委員会
 - 11日 議会だより編集委員会
 - 12日 みやぎ尾花沢会通常総会懇談会
 - 17日 産業建設常任委員会行政調査(14日)
 - 18日 議会だより編集委員会
 - 19日 林活議員連盟研修会・世界最大の木造文化会館(南陽市)
 - 環境衛生事業組合議会全員協議会
 - 20日 議会運営委員会行政調査(21日)
 - 22日 やまがた美しい森林づくり推進大会
 - 24日 議会だより編集委員会
 - 27日 環境衛生事業組合議会10月定例会

TOPICS 特集